

第7回 検討テーマ
「基本計画（案）について」
「市民ワークショップのこれから」

【ワークショップの様子】



基本計画(案)

みんなの議論の集大成！
 見てみよう！



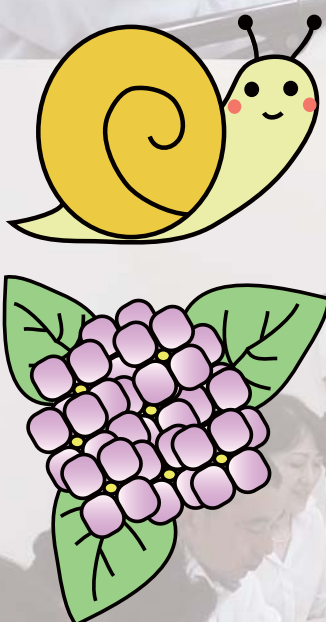
【第7号】
 平成27年7月27日
 発行

第7回柳川市民文化会館（仮称）市民ワークショップが、平成27年6月29日（月）に開催されました。今回は、これまでの議論を反映した「基本計画（案）」が提示され、意見を伺いました。さらに、これまでの市民ワークショップのあり方や感想を共有し、これからの市民参加についても議論しました。

はじめに、市から「柳川市民文化会館（仮称）基本計画（案）」が提示され、これまでの検討の経緯や、本計画の敷地・規模、諸室構成などが説明されました。本基本計画案は、7月21日締め切りのパブリックコメントを踏まえて、まとまっています。参加メンバーからは、駐車場について、財源について、管理運営との調整についてなど、多くの視点からの質問が寄せられました。

次に、梅雨の時期にちなみ、「かたつむり」「あじさい」の2チームに分かれて市民ワークショップのこれまでとこれからについて話し合いました。今回の発表は代表者ではなく、参加メンバーがそれぞれ一人ずつワークショップの様子を振り返り、これからの想いを語っていただきました。今後の課題となるようなご意見も伺いましたので、事務局側で反映していけるよう検討いたします。

基本計画に対する市民ワークショップは今回で完了となりますが、今後、管理運営を始めとした、施設に関わる様々な時期で市民参加の機会が考えられます。今回の情熱を絶やさぬよう、新しい施設の誕生に向けて、市民ワークショップも走り続けます！



●●●●●基本計画（案）への意見まとめ●●●●●

質疑	応答
駐車場は何台くらいありますか。 駐車場が充分になれば、文化会館を使わなくなると思います。 300台程度は必要だと思います。	敷地の中だけですと、現状250台程度を想定しています。周辺の駐車場も上手に活用することで、350～500台程度の台数をまかなえると考えています。
大ホールが満席になるイベントは現状で年に5回程度ですが、大きなイベントは今後どの程度想定されていますか。	現段階では何回程度という具体的な回数はまだ決まっておりません。今後策定していく管理運営計画で事業計画の詳細を検討します。
舞台面積についてですが、舞台面積が小さいと、呼びたい催しを呼べないということもあるかと思っています。そういったことも想定した上で、十分なサイズとなっていますか。	8間×8間の主舞台の計画は、通常の市民会館としては比較的大きいものですので、特殊な公演を除けばかなりの催しが呼べると思います。一方、市民参加型で300名が同時に舞台上に乗るような場合は乗りきらない可能性があります。その場合は前舞台を上げて、舞台を拡張することも可能です。
今後管理運営について策定するようですが、そちらで出てきた意見をハードにフィードバックできるような機構はあるのでしょうか。	基本設計の段階は、設計者の決める前の段階ですので、施設の変更は可能ですが、基本設計で延べ床面積・予算を決めることになるので、その中で調整していきます。
管理運営で、どういう催しをどう運営するのかを計画して、それによって収支計画がどうなるのかが出てきて、建物自体のマネジメントがどういう風になるというところから箱の設計が出てくるのではないかなと思うのですが。	オープン時期から逆算すると、どうしても施設計画を先行して決めていく必要が出てきます。そこから管理運営計画とキャッチボールして、詳細を詰めていくことになります。管理運営計画の検討の中で「ここは使い勝手が悪いので変更してほしい」などの意見があれば、調整する可能性もあります。
正面玄関はどこに作るのでしょうか。プールはやがてなくなるという話ですが、プール、それから体育センターも含め、最初から撤去してやるのでは全く違ってくると思います。	正面をどちらにするかはまだ決まっておりません。こちらについては設計者が設計していく中で、協議をしながら決めていくことになります。
色々な施設で、文化サークル（教室）をやっていますが、今回の計画ではそういったものを取り入れる計画はないのでしょうか。	現在、水の郷の方でやってある部分もありますが、あれだけでは充分でないだろうと考えているところではあります。みなさんのご要望される文化サークルの聞き取りをするなど、今後検討を進めていきます。
これだけの建物に事業費40億円を投入されるということですが、今の工事費の単価を考えると40億円ではできないと思います。50億、60億、もっとかかるかもしれませんが、柳川市にそれだけの事業費を投入できる余力があるのかお聞きしたい。	現時点では40億をベースに、どうしても入りきらなければ規模を削るなどということをしななければならないと考えています。ただし、現在の5500㎡という規模も必要最低限しかいておりませんので、極力この規模を建てられるように努力していきます。
説明は、市全部にしまわるのですか？	説明の要請があれば、地元の方に入っていくと思います。今回広報の方で、こういったパブリックコメントをやり出すという風な周知をさせていただいております。

ワークショップの感想など

ワークショップという言葉をもっとわかり易くしてほしい。

何のためにワークショップを開催し、進めて行くのか、方向性を具体的にしてほしい。

次回のテーマがあらかじめわかると、準備ができる。より多くの意見が集まるのではないかな。

障害者の人が作った作品、商品展览展示するアンテナショップがほしい。障害者に対する偏見や差別をなくす啓発運動につなげたい

柳川の各文化協会のメンバーに意見を求め、実際に利用している方々から実態を聞いて計画に反映して欲しい。

・旧市民会館は撤去し、柳川市庁舎を一つにまとめ、合理化したい！！

【市民ワークショップのこれから】

基本計画については、今回で一段落です。今後、管理運営計画の策定に向けた検討の段階で、市民の皆様のご意見を伺う予定です。

【お問い合わせ】

〒832-8601 柳川市三橋町正行431
柳川市教育部生涯学習課文化係
電話 0944-77-8832
FAX 0944-74-2707
メール : shogai@city.yanagawa.lg.jp